浜松文芸館だより　No.78
い　ざ　な　い

公益財団法人　浜松市文化振興財団
発　行　浜松文芸館（文責：伊熊）
令和5年　秋

企画展　郷土誌からみる　11月1日～2月12日

浜松の今昔～家康の時代を中心に～開催中

ちょっと寄り道しませんか　歴史発見のひととき　浜松文芸館

『歴史を学ぶものは人生を学ぶ』

後述する NEO ぱんぷきん編集長小林佳弘氏が令和５年９月の最終号に記した言葉です。歴史を知る意義が伝わってきます。

大正十三年、浜松で飯尾哲爾(てつじ)氏によって子供たちに童話や民話を伝えたいとの思いから生まれた「土のいろ」が郷土(文化)誌の出発点でした。その後、郷土の歴史文化を伝える「NEO ぱんぷきん」「東海展望」「遠江」が生まれました。徳川家康の時代を中心に、これらの郷土誌が伝えた歴史を〝浜松の今昔〟として紹介します。歴史発見のひととき‥お楽しみください。

○会場には、NEO ぱんぷきんの挿絵原画や古地図、写真など、見て楽しめる展示を多数用意しました。郷土誌を自由に閲覧することができます。
○小学生にも楽しめる〝浜松かるたで「カギのことば」を見つける〟ミニゲームを用意しました。親子で楽しんでください。

開催にあたって多くの皆さん、施設の協力をいただきました。

- 画家　大須賀義明さん（挿絵原画）
- 地域史研究家　神谷昌志さん
- 曳馬郷土史会　藤田喜章さん
- 浜松史蹟調査顕彰会　伊那章臣さん
- 浜松市文化財課
- 浜松市立中央図書館調査支援室
- 浜松市立賀茂真淵記念館
- 雄踏中村家住宅
- 浜松市立内山真龍資料館

お知らせ　**【開催期間中、毎週日曜日 12 時 30 分からギャラリートークを行います。】**

館長による展示内容のご案内　挿絵原画作者のトークや交流　展示資料執筆者との交流